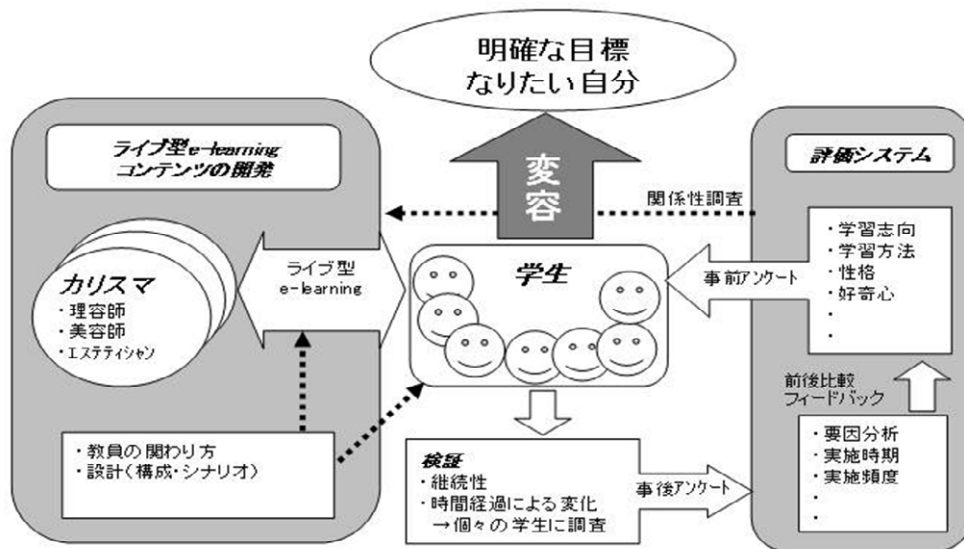


## 平成20年度「専修学校教育重点支援プラン」成果報告書

|     |  |            |                           |
|-----|--|------------|---------------------------|
| 事業名 | 学生の主体性・積極性を強化し、自ら学ぶ力を醸成するライブ型e-learningの実践 |            |                           |
| 法人名 | 学校法人 国際共立学園                                |            |                           |
| 学校名 | 国際理容美容専門学校                                 |            |                           |
| 代表者 | 理事長 中村 文雄                                  | 担当者<br>連絡先 | 若松 伸佳<br>TEL 03-5850-7201 |

### 1. 事業の概要

ライブ型e-learningプロジェクト実施のイメージは、次の図のとおりである。ライブ型e-learning授業実施にあたり、事前と事後で学習志向性および学習方法の評価システムを適用し、学生の学習志向性や学習方法を測定した。また、キャリア意識力の評価軸を新たに開発し、学習志向性調査同様に事前事後で実施し、結果を比較・分析した。事前事後での調査結果により、学生の変容を評価分析し、ライブ型e-learningの有効性を検証した。



## 2. 事業の評価に関する項目

### ①目的・重点事項の達成状況

専門学校学生にとって、目指す職業で活躍する人から直接、仕事に対する姿勢や考え方を聞く機会を得ることや実際に働いている現場を見ることは、その後の職業に対する意識や学習に対する取り組み方に大きな変容を与えることである。理容美容系専門学校学生にとって、サロンで働くトップスタイリストやサロンオーナーの働く現場や考え方を学ぶことは、学習意欲やイメージで捉えている職業の見方を変容させ、その後の学習意欲ややる気に良い影響をもたらすことが期待できる。しかしながら、授業の1コマとしてサロンの現場へ学生全員を連れてゆくことは現実的ではなく、このような体験授業は、インターンシップなどを通して学生が個々に体験するしかない状況であった。

本事業では、授業時間内にインターネットを利用したライブ型e-learningの手法を活用して、サロンと教室をつなぐライブ授業を実施し、これまで困難であった授業の1コマとして体験的にサロンの雰囲気や現場感、トップスタイリストやサロンオーナーの仕事に対する考え方や姿勢を学生が学習する機会を提供した。授業の実施前と実施後に学習志向性、学習方法、キャリア意識力を計測することでその変化を分析し、ライブ型e-learningの教育手法の有効性を検証した。

実施した内容は、今後のライブ型e-learningの実施や導入の手引きとして活用いただくため、ガイドブックとして、また、学習志向性、学習方法、キャリア意識力の事前事後の調査結果の分析は、評価分析報告書として取りまとめた。

事業の成果は、専門学校関係者を招いた成果報告会で発表するとともに、ガイドブック、評価分析報告書をライブ授業を記録したDVDとともに全国の学校法人立専門学校1625校に配布し、その普及に努めた。

### ②事業により得られた成果

理容・美容学科などキャリアとしての目標が明確となっている学科では、具体的なサロンオーナーやそこで働く人たちと接すること、現場感を味わうことはモチベーションを上げるために有効であることがわかった。有効性から考えれば、カリスマ性のある人たちや現場の人たちと直接接することの方が効果があると思われるが、授業内での実施は不可能であり、ライブ型e-learningは教育技法のひとつとして有効な技法であることが検証された。

ネットワークを利用したライブ型e-learningによる教育は、ネットワーク利用環境が整っていれば場所や地域を選択することなく遠隔地でも教育が可能となる。これにより、海外などの遠隔地であっても上記の教育実現の可能性を見出すことができた。

ライブ型e-learningの出演者と学生との距離感を如何に近付けられるかが、モチベーションの上昇に貢献すると想定される。その近さを、提供するコンテンツ・シナリオで実現することがライブ型e-learningを効果的に活用する重要ポイントであることが明確となった。また、ライブ型e-learningを活用した授業では、一方的に講師が話す講和的なものではライブ感が薄く、学習効果があまり期待できない。インターネットでの双方向ライブ配信の特徴を活用し、学生と講師がコミュニケーションをとりながら行うことが有効であった。

### ③今後の活用

#### 【ライブ型e-learning】

接続環境、実施環境を整備し、継続的に実施し、本校教育への活用を計画している。実施のタイミング、内容を検討し、学生のモチベーション向上につなげたい。また、委員参画の専門学校より実施に向けた具体的な取組みをするための調査が開始されている。

#### 【学習志向性調査、学習方法調査、キャリア意識力調査】

今後、継続的な調査を実施し、実績データを蓄積しながら、評価基準の精度を高める活動を行う予定である。精度向上のためには、様々な実績データの蓄積が必要であるため、委員参画専門学校や全国専門学校情報教育協会など専門学校関連団体の協力により、多くの学生のデータを収集し、精査することとしたい。

### ④次年度以降における課題・展開

ライブ型e-learningの成功の要因には音声や画像など環境設定が重要であることがわかった。特に重要な要素は音声であり、ライブ授業実施中において音声が出ない、音声が途切れることで学生の授業に向かう態度やモチベーションが低下してしまう可能性を十分留意する必要がある。環境については、手軽で安価であることを前提としながらも信頼性の高い仕組みを活用することが今後の課題となった。

ライブ型e-learningの効果を検証するために用いた評価分析は、ライブ型e-learningに限ったことではなく、すべての教育活動において測定が可能であるが、今後は実績をもとにした多くのサンプルを分析することにより測定指標や基準の精度を上げることが必要である。

### 3. 事業の実施に関する項目

#### ①ニーズ調査等

学習志向性調査、学習方法調査について、昨年度開発した調査票をもとにライブe-learning授業の前後で実施し、計測することで学生の変容を評価分析し、ライブ型e-learningの検証を行った。また、学習志向性調査、学習方法の調査分析方法を全国の専門学校1625校へ公開し、教育に活用を促進した。

本事業では、上記調査に加え、新たな評価軸としてキャリア意識力調査の開発を行い、学習志向性調査とともにライブ型e-learningの検証に活用した。

調査・分析内容は、評価分析報告書に取りまとめ、全国の専門学校1625校に配布し、その普及に努めた。

#### ②カリキュラムの開発

ライブ型e-learningの教育手法開発

##### ■コンテンツ開発

効果が期待できるサロンやトップスタイリスト、サロンオーナーの選考から授業実施内容の構築、シナリオの作成、教育の狙いの明確化と提供コンテンツの整合性をライブ授業の実施を通して検証した。

ライブ型e-learningとして、現場感、臨場感を伝えることにより、学生のやる気やキャリア意識力を高めることを教育の目標として、コンテンツの内容を検討した。

開発したコンテンツは、ガイドブックに取りまとめた。

##### ■ライブ授業環境構築

既存の機材とインターネット環境を活用して実現できるレベルおよび汎用性の高いシステムとなるよう検討した結果、以下の環境で実施した。

インターネット接続:NTT光回線(100MBベストエフォート)

ライブ配信システム:Adobe Acrobat Connect

音響映像:音響は、既存の設備のスピーカー、映像は家庭用ビデオカメラとした。

##### ■評価軸の開発

学習志向性、学習方法調査:

昨年度事業で開発したアンケートにより実施した。

キャリア意識力:

理容美容系学生の行動特定を新たな評価軸として、加えることとした。

キャリア意識力は価値創造力、技術力、

ホスピタリティマインドにより評価することとした。

#### ③実証講座

##### ■美容科ライブ授業

(1) 日程 : 平成20年11月29日

(2) 開催地 : 当校(東京都) 2号館B1教室  
本八幡(千葉県) ヴィサージュ(美容サロン)

(3) 対象 : 当校 美容科1年生 42名参加

(4) 時間 : 9:00~10:30

(5) 講師 : 白坂春光氏(ヴィサージュオーナー)  
竹内 美乃氏(トップスタイリスト)

(6) 内容 : 当校教室と美容サロンを接続したライブ型授業。

店の雰囲気や現場の臨場感をライブ接続する

ことで教室で体験的に学習する授業を実施した。

#### ■理容科ライブ授業

- (1) 日 程 : 平成20年12月2日
- (2) 開催地 : 当校(東京都) 2号館B1教室  
神田(東京都) ヘアモードキクチ(理容サロン)
- (3) 対 象 : 当校 理容科1年生 40名参加
- (4) 時 間 : 13:00~14:30
- (5) 講 師 : 菊地力央 氏(ヘアモードキクチオーナー)
- (6) 内 容 : 当校教室と理容サロンを接続したライブ型授業  
店の雰囲気や現場の臨場感をライブ接続する  
ことで教室で体験的に学習する授業を実施した。

事前事後でアンケートを実施した結果、理容科・美容科とも学習志向性、学習方法、キャリア意識力に変化が見られ、ライブ授業の効果が確認された。

特にキャリア意識力のポイントは、事前を事後が上回り、店の雰囲気、現場の臨場感、理容サロン・美容サロンのオーナーなどから直接話を聞く体験的な授業が、学生の意識や行動変容に効果的であることがわかった。遠隔地の接続先とのインタラクティブな授業を実施する手法としてライブ型e-learningが有効であることを検証した。

#### ④その他

本事業では、ライブ型e-learningにより、通常の授業では実施が困難なサロンの現場の臨場感や雰囲気、サロンオーナーの仕事に対する姿勢などを体験的に学習することが可能であり、学生のやる気やキャリア意識力の向上に有効であることが検証された。

ライブ型e-learningの可能性は、離れた地域の臨場感が学生に伝わり、体験的に学べるところにあり、今後は、海外の美容サロンやファッションショーなどの現場と接続することを研究し、新たな教育技法としての活用を推進したい。